

湊川相野学園 ニュース No. 61

発行: 2019年12月
湊川相野学園理事長室会

ひとを育て、ともに歩んで100周年



湊川相野学園「創立100周年記念式典・祝賀会」

三田市四ツ辻を本部とし、短大・高校・5幼稚園・2保育園を三田市・神戸市に擁する学校法人湊川相野学園は、神戸湊川の地で創立されてから今年で100周年を迎えました。

1919(大正8)年、校祖「幸田たま」は吉川町に生まれ三田・篠山での教師経験を経て、我が国の将来に必要な「女子教育」に目を向け、神戸市兵庫区に裁縫女塾を創設しました。

その後、生徒数は1,000名を超え、「裁縫教員になるなら湊川」と信頼されるようになり、多くの若人たちが社会へ羽ばたきました。しかし、1938(昭和13)年の阪神大水害で校舎倒壊・犠牲者10名をだし、その後再建した校舎を火災により消失、さらに戦禍を逃れるために三田の地へ疎開するなど苦難の連続でした。校祖は再出発の地を三田(下相野)として、生徒たちと寝食を共にしながら再び立ち上がりました。地元の方々や教育関係者にも校祖の教育に傾ける情熱に共感、応援していただき、女子短期大学・女子高等学校が新設されました。その後、短大・高校は共学化と共に校名も湊川短期大学・三田松聖高等学校となりました。

2019(令和元)年11月22日、三田市総合文化センター郷の音ホールで記念式典が催され、浅井祐子理事長は、「子どもの豊かな育ちを支援し、地域の子どもを支える拠点として歩み続けたい」と、来賓・学校関係者(約850人)に挨拶しました。

式典は園児たちの太鼓に始まり、高校生の演奏・合唱、学生・生徒・園児による未来へのメッセージが発表されました。さらに記念講演として武田 建氏(関西学院大学・名誉教授)に「上手に叱り、上手にほめるコーチングの心理学」と題してユニークな実験を元にしたご講演をしていただきました。



午後は、ザ・セレクトンプレミア神戸三田ホテルに会場を移し、記念祝賀会が催されました。日本私立学校振興・共済事業団理事 小谷隆之氏のご祝辞のあと、短期大学の西隆弘教授・前川尚子講師によるピアノ演奏と続き、三田市教育委員会教育長 鹿嶽昌功氏の乾杯ご発声で祝賀会が始まりました。

会を締めるにあたり、山野上素充常務理事が学園教職員共々ご列席の皆さまへの感謝を述べ、多くの笑顔がこの日を祝いました。

数々の苦難を乗り越え不死鳥のように教育の場を育てた校祖幸田たま、その意思を多くの子どもたちへ伝えた故古林美代子、独自の経営手腕で全国に学園を知らしめた故古林尚夫の歴代理事長。

そして、その努力の結晶とも言える創立100年を迎え、湊川相野学園は浅井祐子理事長によってさらなる飛躍を遂げています。

